

## [2019]九州大学情報統括本部年報 : 2019年度

<https://hdl.handle.net/2324/4123611>

---

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2019, pp.1-, 2020-12-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



## 第13章 図書館連携事業室

### 13.1 図書館システム支援に関する事項

#### (1) システム更新及び安定運用に向けた調整

認証基盤事業室と連携して、図書館システム運用サーバ類のサーバ証明書更新を実施した。

(2019年4月、12月、2020年3月)

図書館内蔵書検索用端末の安定接続のため、ネットワーク接続設定の変更を実施した。

(2019年11月)

#### (2) 可用性及びセキュリティ確保のための調整

九大 CSIRT 等と連携し、図書館システム WWW サーバで確認された脆弱性に対応した。

(2019年6月)

図書館システム連携設備について、WindowsOS のサポート終了に伴う機器の更新支援及びネットワーク接続設定の見直しを実施した。

EZproxy のバージョンアップを実施し、リモートアクセスサービスの安定性とセキュリティを向上させた。

(2019年9月)

### 13.2 電子コンテンツサービス支援に関する事項

#### (1) Shibboleth 認証サービスの安定運用

Shibboleth (学認) による電子コンテンツへのリモートアクセスについて、附属図書館及び認証基盤事業室と連携して対応した。主な事項は以下の通りである。

- 利用者からの要望や障害報告への対応
- 休業期間におけるアクセス制限設定の見直し
- 図書館SP の脆弱性対応やソフトウェアアップデート

#### (2) リモートアクセスサービスの提供

リモートアクセス可能な電子コンテンツについて 90 件の追加及び変更作業を行った。

2019 年度、EZproxy によるリモートアクセス件数は参考資料 1 の図 1 のとおりとなった。

(参考資料 1、図 1)

#### (3) 不正利用への対応

電子ジャーナルの不正利用等による出版社からのアクセス停止措置が 3 件発生した。これらについて、支線 LAN 管理者を通じて調査した利用状況を出版社へ報告し、アクセス制限の解除を行った。

### 13.3 機関リポジトリ支援に関する事項

- (1) 九州大学オープンアクセス方針の円滑な運用のため、インスティテューショナル・リサーチ室と調整し、九州大学教員活動進捗・報告システム (Q-RADeRS) との連携機能を定常運用することで、九州大学学術情報リポジトリ (QIR) のコンテンツ登録作業の省力化を図った。

Q-RADeRS 連携による QIR 登録件数 105 件 (2019 年度)

- (2) 研究データ管理基盤検討タスクフォースと連携し、QIR における研究データ登録・公開のシステム要件や研究者の国際的な個人識別子ORCID の実装に関する情報収集、情報提供を行った。

#### 13.4 図書館での教育支援に関する事項

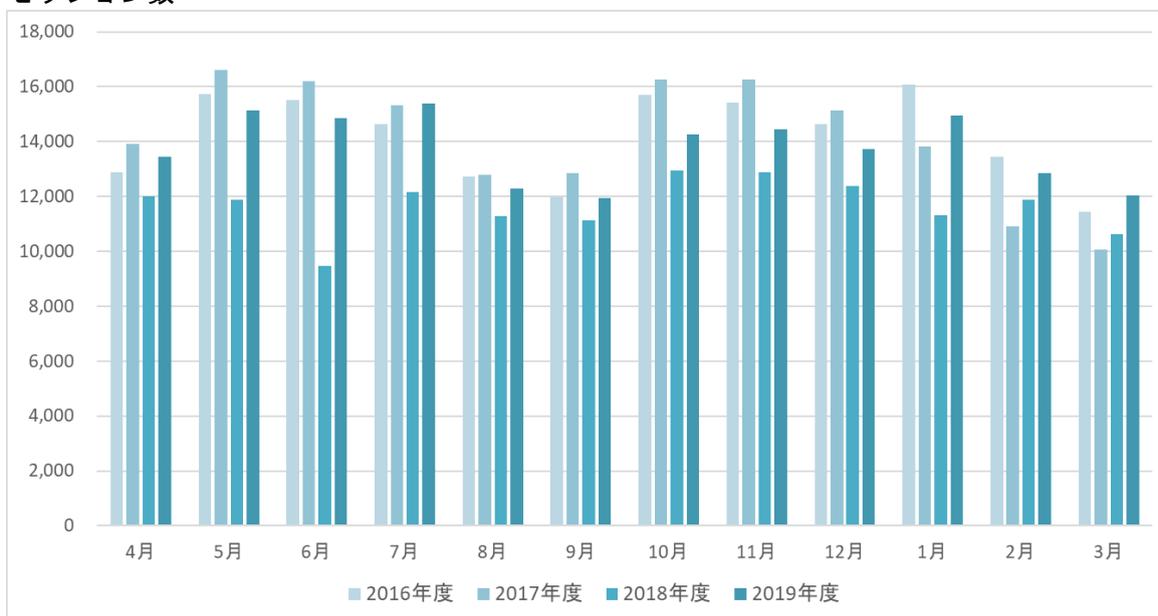
- (1) 附属図書館が部局とともに実施した新入留学生向け図書館ガイダンスで、学生用 SS0-KID の有効化、kitenet/edunet の接続、全学基本メールの転送など情報サービスの設定補助を行った。

(2019 年 4 月)

- (2) 図書館 TA (Cuter) と連携し、図書館内での教育情報サービスに関する学生向けの相談サービスを実施した。2019 年度の伊都、病院地区における附属図書館への情報統括本部提供サービス関連の問合せのうち、52 件を図書館TA (Cuter) が対応した (ヒアリング後に iCube へ案内した件数も含む)。
- (3) 図書館で BYOD 補完のため配備している利用者用 ChromeOS 端末が自動更新期限を迎えるため、その更新を支援した。

各種統計 (2020年3月31日現在)

図1: 2019年度 EZproxy 利用統計  
セッション数



ユニークユーザ数

